

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○				○	○	○					○		○

企業の概要

社名	株式会社マミーゴー	都道府県	東京都
業種	人材事業、プロモーション事業	従業員数	10
事業概要	ITに強い主婦・ママ700名のコミュニティを活かして、企業の業務効率のお手伝いやプロモーション支援を行う。		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	運営ルールやマニュアルを作成している
テレワーク担当部署	
テレワーク対象者	正社員・時短正社員・契約社員
実施者数	6名
実施日数	週1回(平均週4日以上勤務の人のみ)

テレワークの導入・拡大の経緯

全社員、子育て中のママであるためライフステージに合わせた仕事の環境を提供することに力を入れている。

テレワークの概要・特徴

子育て中のママが100%であるため、お子様や社員のライフステージに合わせた働く環境を提供している。

- お子様の急な病気の場合、テレワークに切り替える。
- 幼稚園のお迎えやお子様の行事がある場合、半日出勤のそのあとテレワークに切り替えて業務を行う。
- 家族の事情で日中仕事ができない場合は、定時の9時半～17時半以外の22時～5時を除く時間にテレワークすることを認めている。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

ママにとって働きやすい環境であると社員の満足度が高い。

(取組)

- 片道2時間(交通費2,500円/日)かけて出勤しているスタッフがいるので、週2回在宅のシフトを組む。
 - パソコン使用の誓約書の締結を進めた。
- テレワークによるスタッフの満足度は向上しているが、一方で家でメリハリのなく仕事の継続をしてしまう点、またクライアントの情報漏洩などのセキュリティの問題が懸念していた。そこで、各自にパソコンを貸与し、テレワーク時のパソコン使用のルールや情報の取り扱いの厳守などの規約を改めて設定し、各自に口頭での説明と誓約書の締結を進めた。
- 在宅するスタッフとそうでないスタッフとの仕事の連携を図るため、Googleカレンダー(クラウド)で在宅の有無を見える化した。

(効果)

- 交通費の削減はもちろんのこと、スタッフのモチベーションアップや家族の理解を得ることができた。特に前者は仕事のパフォーマンスに繋がった。
- 基本的にテレワーク日に設定した日でない仕事用のパソコンがないため、会社内で仕事を集中して効率的に終わらず姿勢が垣間みれた。
- Googleカレンダーを使用することで、ミーティング日の設定やその前の準備を行うことに努めたため、効率のよい連携が実施できた。
- スタッフの多くが片道1～2時間かけて勤務している。育児と仕事の両立を考えるとその時間が損失している。そこで、テレワークの場合、勤務時間の時間を仕事時間に充てている。